

あったかトーク

第24号 2017年冬号

ひぐちのりこ事務所
(青葉区版)
発行人 樋口 典子
1959年仙台市生まれ 管理栄養士
社民党仙台市議団
●都市整備建設常任委員会
●地域経済活性化調査特別委員会
●議会運営委員会

市民協働のまちづくり継承 ～郡和子仙台市政スタート

25議案を審査～第3回定例会



第3回仙台市議会定例会は、9月11日から10月12日まで開かれ、昨年度一般会計等の決算認定をはじめ、計25件の議案審査を行いました。

一般会計の決算では、東日本大震災の復興事業の進行を反映して、対前年度比の歳入で9.4%減(総額4,889億円)、歳出で8.9%(総額4,743億円)の減少となりました。

企業会計では、水道、ガス事業、病院事業は黒字を計上しましたが、病院は旧市立病院跡地の売却益によるもので、実質的には厳しい状況となっています。バス事業は、地下鉄東西線開業の影響もあり、乗客数、収入とも減少し、資金不足比率がさらに悪化するなど、経営が危機的状況にあることは変わりありません。

(仮称)錦丘中学校の 校舎等新築工事契約締結

条例案等では、県費負担教職員の給与負担が都道府県から指定都市へ委譲された

ことに伴い、都道府県民税と市町村民税の所得割の標準税率について、市民税の所得割は100分の6から8へ、県民税は100分の4から2にすること、家庭的保育事業に供する固定資産税及び都市計画税の免除などのための市税条例の改正案が提案されました。

また、東日本大震災の被災者等の入学金及び授業料等を引き続き減免することができるための条例、今泉・松森清掃工場の施設設備改修工事費、東部復興道路(県道塩釜 亘理線)のかさ上げ工事費、(仮称)錦丘中学校の校舎等の新築工事費にかかる工事請負契約の締結に関する件なども上程されました。

その他、人事案件では教育委員の選任に関する案件も上程され、これらは全て承認・可決されました。

郡市長が初の「所信表明」 ～市民協働のまちづくりを強調～

議会開会の冒頭、郡和子新市長は市政運営への決意を述べました。

まちづくりの基本的な考えについては、「[まち]のあり様を考えたときその主役は常に「人」であり、市民の命や健康、財産はもとより、本市の文化や歴史、自然など「守るべき」ものをしっかり守りながら、その力を十分に「活かせる」まちづくりを

市政運営の理念としていく」としました。「市民が健やかに安心して暮らせるまちづくり」については「いじめ防止条例」の制定、35人以下学級の拡充や仙台版奨学金制度の創設や待機児童解消に向けた保育所整備、地域福祉の充実に取り組むなどと述べ「復興なくして仙台の未来はない。被災者一人一人の心に寄り添い丁寧な対応に努める」ことを強調しました。

「まちの魅力と活力の向上の推進」については、経済の活性化と交流人口の拡大、起業や創業の促進、東北各地域との観光連携による東北全体の集客力の向上を掲げ、これらを市民協働で推進していくことに重点を置きました。

今議会から常任委員会および調査特別委員会の所属が変更となり、ひぐちのりこは都市整備建設常任委員会、地域経済活性化調査特別委員会の所属となりました。また決算等審査特別議会で私は第3分科会長をつとめました。



ひぐちのりこ 市政報告 & おしゃべり会

市議会報告と、今後の仙台市のビジョンなど話し合っていきたいと思います。お子様連れでも参加いただけます。

◆日時/12月25日(月) 15時～(1時間くらい)
◆会場/ひぐちのりこ事務所 ◆人数/10名様くらい

出入り
自由
無料

ひぐちのりこ事務所
〒980-0011
仙台市青葉区上杉3丁目9-31
プリマヴェーラ社王101
TEL.022-398-8171
FAX.022-398-8172
セブンイレブン側からお入り下さい。
お気軽にお立ち寄り下さい!

ひぐちのりこ 東奔西走!

8.12 5年ぶり開催ッ! 9.10 ジョジョフェスin S市杜王町

2012年の開催から5年ぶりに「荒木飛呂彦原画展 ジョジョ展in S市杜王町」がせんだいメディアテークで開催されました。前回の反省から開催期間の延長や日付指定券の導入などを行い、前回は2万人ほど上回る5万人以上の方々が訪れました。仙台市本庁舎には「ようこそ杜王町へ」の掲示がなされ、ジョジョデザインのイクスカの販売やキャラクターが描かれた下水道マンホールの設置、市内商店街なども連携した取り組みが行われ、交流人口の拡大につながりました。



期間中ジョジョゆかりの地を巡った杜王町循環バス。

7.28 LGBT自治体議員連盟 29 夏の研修

北海道から大阪まで、各地の自治体の議員など、のべ100人が参加し先進的な事例を学びました。文京区では性的マイノリティーの人たちへの差別禁止を盛り込んだ条例が制定されていること、世田谷区では2年前に要綱が策定され、同性のカップルが互いをパートナーとする宣誓書を提出すれば、結婚に準じる関係として正式に認定する取り組みを始めて、年間20組以上の利用があることが報告されました。



全国から集まった議員ら。

8.20 食物アレルギー対策の 10.25 取り組み調査



食物アレルギー対応食品。

8月20日、仙台市を中心に食物アレルギーのサポートをしている団体主催による食物アレルギー対応のランチの紹介がありました。シンポジウムでは当事者や保護者、医療関係者が登壇。学校給食での対応の取り組みの実際や提案などが話されました。

10月25日は、主に宿泊施設におけるアレルギー対応メニューの対応、試食会でした。

これからのインバウンド需要に伴い、多様な食に対応する実際を学びました。

8.21 「幼児教育の指針」について質問

健康福祉常任委員会で質問をしました。

市内全ての幼稚園、保育所、認定こども園、計258園のアンケート結果では「子どもたちの体力、運動機能が低下。生活のリズムが乱れがちな子どもが増えている」などがみられました。指針策定にあたって「仙台市すこやか子育てプラン2015」とのかかわりや、総合健康診査健康診査でのデータの活用なども考慮に入れことを求めまし

た。来年度から施行される幼稚園教育要領などでは、「能力」という言葉が入ります、子どもによっては能力がないという評価につながる危険性があることについても質し、どの子どももその特性が最大限生かせるような発達への支援を行う。対象年齢についても当初は3歳以上としていましたが、子どもの育ちは継続をしているので0歳から2歳についても鑑みるとの答弁でした。

たくさんの皆さんの声を聞きます!

9.10 仙台市総合防災訓練

北仙台中学校で行われた仙台市防災訓練に参加しました。地域の方々による救助訓練や体育館における避難所の設置、地震体験車「ぐらら」での模擬体験、地元消防団による放水などがありました。校庭に設置された特設のテントではAEDによる心肺蘇生法の訓練などが行われました。



消防団の指導による人工呼吸。

10.12 来年度予算会派要望

毎年、社民党市議団が行っている来年度予算要望を市長に提出しました。

項目は青葉区内の「想定される農学部跡地建設に関わる渋滞緩和施策」「作並温泉、ラサントの発信力強化や仙山連携の取り組み」「貝ヶ森市民センターの改修」「国見ヶ丘地区の除雪等対策」「妊娠から出産、育児まで切れ目のない家庭支援を行うこと」などの要望も含め185件。

「子どもの権利条例」「公文書管理条例」など5つの条例の制定や「コンプライアンスの遵守、過重労働の解消に向け適正な人事管理を行うこと」「非核平和都市宣言」「女川原子力発電所の稼働永久停止」を求めました。回答は来年1月を予定しています。



都市長に要望書提出。

10.20 仙台市中高層建築物の建設に関わる条例について質問

仙台市中高層建築物の建設に係る紛争の予防と調整に関する条例は、日照障害などの問題など紛争の事前防止を目的として定められました。

建築物の建設にあたり、地域住民に対して説明会が開催されない場合や近隣の私道の使用について合意がなされない場合もありますが、それであっても近隣説明会等報告書が提出された場合、報告書が受理されることになっており、トラブルが起こりかねません。このことについて質しました。説明は文書の配布による方法も認めているので、必ずしも説明

会を開催しない場合であっても報告書を受理することとなる。建築を計画する場合は、建築基準法に定められている関係法令のほか、要綱、要領等による様々な手続きがあるので、建築業者等からの相談の機会に、これらの手続きを確実にを行うよう指導している。引続き、建築主と地域住民、双方の良好な関係が構築できるよう指導をするとの答弁でした。

他都市では中高層建築物等の建築主の義務についてきめ細かく定めているところもあります。条例内容の変更の検討についても求めました。

ひぐちのりこ 主な活動日誌

9月3日 青葉消防団特別点検
 9月7日 青葉はつらつ明老祭
 9月10日 平成29年度総合防災訓練
 9月11日～10月12日 仙台市議会第3回定例会
 9月25日 都市整備建設常任委員会
 10月9日 みやぎアビール大行動
 10月23日 地域経済活性化調査特別委員会
 10月24日 いじめ問題等対策調査特別委員会
 10月29日 貝ヶ森地区文化祭
 11月2日 仙台・福島・山形市議会広域観光推進協議会
 11月3日 第29回青葉区民祭り

11月7日～9日 都市整備建設常任委員会視察
 11月18日 市議会議員と若者の交流会
 11月21日 都市整備建設常任委員会
 11月24日 2017仙台の夕べ

これから主な予定

11月25日～28日 仙台防災フォーラム
 11月27日～29日 会派視察
 11月30日 議会運営委員会
 12月4日 いじめ問題等対策調査特別委員会
 12月7日～22日 仙台市議会第4回定例会
 1月4日 平成30年 新春のつどい

9月20日

一般質問しました。

LGBT[※]理解を深める施策を

法務局人権擁護局では今年度の重点項目で性的指向・性自認を理由とする偏見や差別をなくすことを掲げており性的少数者への理解を深めることは人権課題の一つとしています。

LGBTに総称される性的少数者は7.6%、

13人に1人との調査もあります。本市における性的少数者理解のため住民への啓発や教職員への研修、子どもたちに接する方々への理解促進について市の考えを質しました。

「これまで、性的少数者の団体が実施する事業への協力、情報発信の支援などを行っ



てきた。今後はさらに市民講座の開催など、周知・啓発をしたい。今年度は全職員を対象とした研修を実施するほか、職員向け情報誌を発行する。関係部局と連携し、子どもを対象とする施設の職員などの理解促進への取り組みを検討する。教職員向けには文科省の資料を活用して教職員の認識を深めたい」などと答え



ました。

また、同性カップルが市営住宅に入居できるように検討、札幌市などで取り組まれている同性パートナーシップ宣誓制度について求めました。「市営住宅の入居に関して、事実上婚姻関係と同様の事情があることの確認方法等については他都市の事例を研究する。パートナーシップ制度などの具体的な支援のありかたについて、市民の皆様が多様な性の在り方を正しく理解してもらい、差別や偏見のない環境づくりをまずは推進していきたいとの答弁でした。

※L: 女性同性愛者、B: 男性同性愛者、G: 両性愛者、T: 出生時に定められた性別に違和感を持つ人

男女共同参画への配慮十分でない ～仙台・宮城夏のキャンペーン観光PR動画

公的機関として配信することに対して問題があると意見が相次いだインターネットで配信された仙台・宮城夏の観光PR動画についての市長の見解を質したのに対して、市長は「PR動画は、仙台市も協議会の

名前を使用している以上、事前に協議会メンバーに周知

し意見を求めるべきであったと考えている。内容については知事の発言を踏まえても、なお男女共同参画の観点への配慮が十分ではなかったと考えている」と答弁。

さらに次のキャンペーンでは県に対して仙台市の意見を伝えることを求めたところ「構想段階から本市の考え方を伝え、仕上がってきたものに対しても、もの申しないことではない」と答えました。

動画が配信された7月には社民党仙台市



フェミニスト議員連盟が県に要望書を提出。

議団をはじめ宮城県議会議員、フェミニスト議員連盟および市民団体などが抗議と配信の即刻停止を申し入れましたが、宮城県は配信を続け、8月26日に終了するまで460万回再生されました。

市議会 ひぐちコラム

郡市長の初めての所信表明には、仙台市議会始まって以来と言われる200名を超える方々が傍聴にいらっやいました。本会議場の96席と車いす傍聴席8席もあつという間に埋まり、議会棟2階にネット中継が見られるよう特別に用意をした傍聴用の部屋も満杯になり、市民の方々の関心の高さを感じました。市長は「多様な人々が暮らすまちにおいて、年齢や性別、障がいの有無にかかわらずすべての市民が安全に安心して生活できることが大切」と明言。議会の場でもしっかりと論議を重ね、進めなければと気を引き締めております。

ホームページ

<http://www.kaigamori.com/nohiguchi/>

ひぐちブログ

<http://nohiguchi.jugem.jp/>

ツイッター

twitter アカウント名
#nohiguchi

Facebook

facebook ページ
<http://www.facebook.com/noriko.higuchi.18>



QRコード

ひぐちのりこ事務所

TEL.022-398-8171 FAX.022-398-8172